

2021 耳鼻咽喉科 試験問題 再現

2021. 6. 4 実施

解答用紙の解答欄に答えを1つだけ記入してください。

1. 標準純音聴力検査について正しいのはどれか。
 - (1) 他覚的聴力検査である。
 - (2) 閾値が 20dB 以下であれば正常である。
 - (3) 骨導聴力の骨導端子は、乳様突起上に置く。
 - (4) 低い周波数から検査を行う。
 - (5) 骨導を検査する際に、対側耳にマスキング（遮蔽）を行うことはない。a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

2. 内耳の解剖生理における記載で正しいのはどれか。
 - (1) 内リンパは高 Na 濃度、低 K 濃度である。
 - (2) 骨迷路は内リンパで満たされている。
 - (3) 内有毛細胞は4列ある。
 - (4) 外有毛細胞の興奮には動毛にあるチャンネルからの K イオンの流入が必要である。
 - (5) 外リンパにおける蝸牛内電位はほぼ 0mV である。a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

3. アブミ骨と蝸牛の間に介在する構造物は次のどれか。正しいものを一つ選べ。
 - a. 鼓膜 b. 基底膜 c. 正円窓 d. 卵円窓 e. キヌタ骨

4. 突発性難聴の治療について正しいのはどれか。
 - a. 症例数 200 例以上を検討した報告では完全治癒率が 50%程度である。
 - b. 治療開始が発症 2 週間以後では予後不良である。
 - c. ステロイド治療の有効性は証明されている。
 - d. めまいを伴う例は比較的予後良好である。
 - e. 糖尿病合併例は比較的予後良好である。

5. 中耳炎が乳幼児に多い理由について間違っているものを一つ選べ。
- a. 一般に免疫力が未発達。
 - b. 鼻咽頭・咽頭の狭小；アデノイド増殖症・扁桃肥大に口呼吸にて上気道感染しやすい。
 - c. 口蓋裂を伴う小児は中耳炎に更に罹患しやすい。
 - d. 乳児を寝かせて哺乳させること。
 - e. 生後6ヶ月以内に中耳炎になりやすい。
6. 工作中に突然、右難聴、右耳鳴を自覚した。ほぼ同時にめまいを自覚したため、救急外来を受診した。右聴力は4分法で70dBの高度感音難聴を認め、左向き水平回旋性眼振が観察された。軽度ではあるが、失聴性歩行を呈していた。既往歴に心房細動、高血圧、糖尿病がある。今後、経過の中で注意すべき症状はどれか。
- (1) Horner 徴候
 - (2) 嘔声
 - (3) 複視
 - (4) 顔面神経麻痺
 - (5) 顔面温痛覚低下
- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)
7. 難聴を起こすことのある薬剤として間違っているものを一つ選べ。
- a. ストレプトマイシン b. ペニシリン c. シスプラチン
 - d. サルチル酸 e. フロセミド
8. 末梢前庭性眼振について正しい組み合わせを一つ選べ。
- (1) 緩徐相側を注視すると眼振は増強する。
 - (2) 発症から時間経過とともに消失していく。
 - (3) 固視抑制により増強する。
 - (4) 垂直方向の眼振が多い。
 - (5) フレンツェル眼鏡下で眼振観察が困難になる。
- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

9. メニエール病について間違った記載はどれか。

- (1) グリセロール試験は診断に有用である。
- (2) 発症頻度が高いのは10～20代の世代である。
- (3) 多くはリクルートメント陰性である。
- (4) 発症初期は低音障害型感音難聴を呈することが多い。
- (5) 進行期は50～60dBの水平型感音難聴を呈することが多い。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

10. 良性発作性頭位めまい症についてもっとも正しい組み合わせを一つ選べ。

- (1) 聴力低下を伴う。
- (2) 浮遊耳石によって起こるといわれている。
- (3) 理学療法によって著明に軽快することが多い。
- (4) 頭位変化によって水平性、または回旋性の眼振が誘発される。
- (5) めまい頭位の反復で眼振は増強する。

a (1)、(2)、(3) b (1)、(2)、(5) c (1)、(4)、(5)
d (2)、(3)、(4) e (3)、(4)、(5)

11. 32歳の男性。右顔面の麻痺を主訴に来院した。4日前から右耳痛、右軽度難聴および右顔面の違和感が続いていた。昨日から飲水時に右口角から水が漏れ、今朝から右眼が閉じられなくなった。右耳介に皮疹を認める。この患者に関する次の所見の内、誤っているものは次のどれか。

- a. 右額のしわ寄せは可能である。
- b. 舌右側の味覚の低下がみられる。
- c. 右アブミ骨筋反射は減弱する。
- d. 聴力検査で感音難聴を認める。
- e. 水痘・帯状疱疹ウイルスの再活性化が原因である。

12. 好酸球性副鼻腔炎の特徴について間違っているものはどれか。

- a. 一側性に起こる。
- b. 副鼻腔CTでは、篩骨洞優位の陰影を示す。
- c. 血中の好酸球の増加を認める。
- d. マクロライド治療に反応が悪いが、ステロイド治療は著効する。
- e. 気管支喘息を合併していることが多い。

13. 下記の疾患の説明について間違っているものを一つ選べ。
- a. 声帯ポリープは教師に出来易い。
 - b. ポリープ様声帯は喫煙と関係することが多い。
 - c. 反回神経麻痺は右側に多い。
 - d. 声帯結節は声帯の前 1/3 の部位に出来易い。
 - e. 喉頭がんは喫煙と関係することが多い。
14. 喉頭癌について正しいものを一つ選べ。
- a. 腺癌が多い。
 - b. 声門上部癌は早期に発見されることが多い。
 - c. 早期のものは抗癌剤のみに治癒が望める。
 - d. 声門癌は早期にリンパ節転移を起こしやすい。
 - e. 声門下部に生じることは少ない。
15. 気道確保について正しいのはどれか。
- (1) 急性喉頭蓋炎の気道確保は気管内挿管が最も容易である。
 - (2) 用手的気道確保として下顎挙上法がある。
 - (3) 輪状甲状膜切開は気管挿管困難例や気管切開の時間的余裕がない場合に選択される。
 - (4) 気管切開の早期合併症として気管腕頭動脈瘻がある。
 - (5) 小児の気管切開は上気管切開がおこなわれることが多い。
- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)
16. 上咽頭癌に関して正しいのはどれか。
- (1) 高齢者に多い。
 - (2) 高分化扁平上皮癌が最も多い。
 - (3) リンパ節転移しやすい。
 - (4) EB ウイルスが発症に関与する。
 - (5) 頭蓋内浸潤を来すことは稀である。
- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

17. 舌癌切除後の再建において誤っているものを選べ。
- a. pull through という方法で切除される。
 - b. 広背筋皮弁が頻用される。
 - c. 嚥下機能の再建が目的の一つである。
 - d. 下顎骨も合併切除することがある。
 - e. 構音機能の再建が目的の一つである。
18. 甲状腺腫瘍について正しいものを選べ。
- (1) Basedow 病に対する治療の第一選択は手術である。
 - (2) 甲状腺癌の 90%以上は分化癌（乳頭癌、濾胞癌）である。
 - (3) MEN2A 型（Sipple 症候群）は甲状腺髄様癌のほか褐色細胞腫と上皮小体腫瘍を合併する。
 - (4) 未分化癌は予後良好である。
 - (5) 甲状腺原発の悪性リンパ腫は手術治療が主体である。
- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)
19. 嚥下の過程について間違っているものの一つを選べ。
- a. 先行期（認知期）では食物を見て食物の形状などを認識し摂食方法を準備する。
 - b. 口腔期は不随意運動で行われる。
 - c. 準備期には咀嚼運動も含まれる。
 - d. 咽頭期には不随意運動で行われる。
 - e. 食道期では食道から胃に食塊が送り込まれる。
20. ヒト乳頭腫ウイルス（HPV）によっておこる頭頸部癌の特徴について正しいのはどれか。
- (1) HPV は飛沫感染する。
 - (2) 喫煙者、飲酒者が多い。
 - (3) 頭頸部癌から検出される HPV は 16 型が多い。
 - (4) p16 は、HPV 関連癌における代替マーカーとして用いられている。
 - (5) HPV 陽性中咽頭癌では HPV 陰性症例より遺伝子変異が多い。
- a (1)、(2) b (2)、(3) c (3)、(4) d (4)、(5) e (1)、(5)

(個人的分析)

2021 年は COVID-19 の影響で、オンライン講義となりました。

試験については、問題数が過去に比べて少なくなりました。また、2019 年や 2020 年の試験と同じ問題もありました。過去問をある程度解いておけば対応できる問題が多かった印象です。試験に向けてというよりは、CBT に向けて勉強するのがいいと思います。

追試者 0 人（発表なし）